
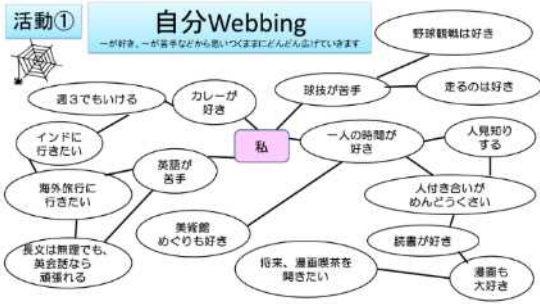



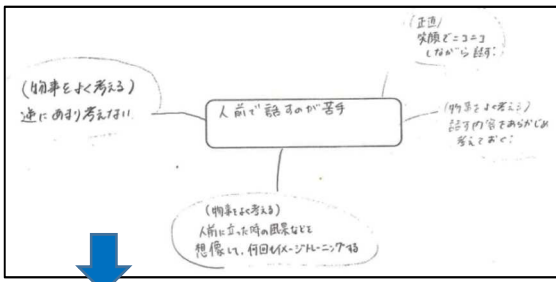


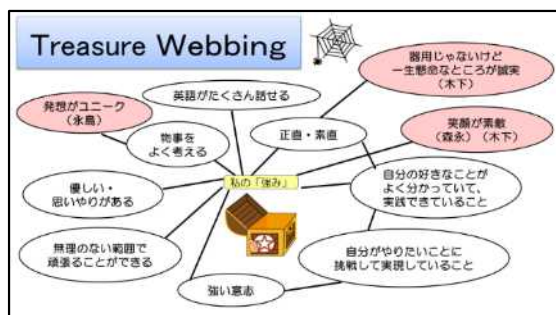
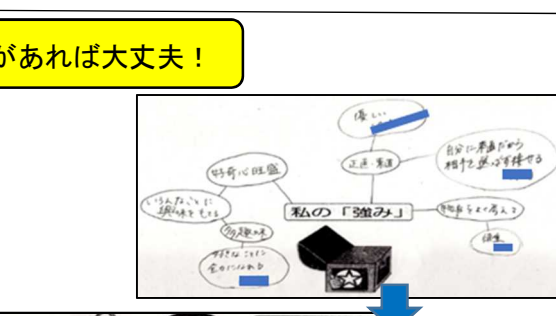
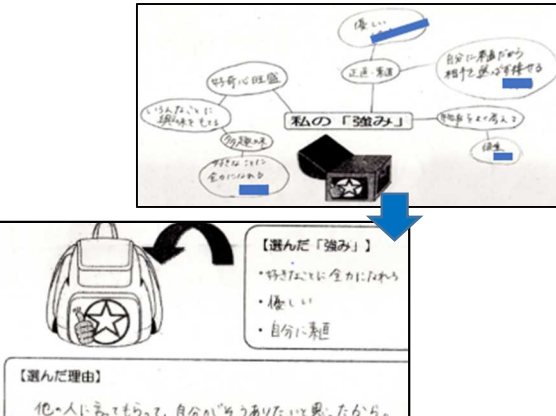


2 研究の実際 > (2) 「強み」に関する活動プログラム

イ 授業のポイント (高等学校)

	主な活動 (交流活動・・・) と授業スライド等	生徒の実態に即した活動のポイント
<p>① 自分や友達の「強み」を知ろう</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">「強み」について知る</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">自分Webbing</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center; margin-bottom: 10px;"> <p>自分や友達の「強み」について考えたことがありますか？</p>  </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>「強み」の定義 =人の思考、感情、行動、からだ</p> <p>人に備わっているもの 人にあるもの 人がもっているもの</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>「強み」を理解するポイント</p> <p>ポジティブ(プラス)だと思えることばかりでなく、ネガティブ(マイナス)に思えることも含めて、「強み」として考える</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p>活動① 自分Webbing</p> <p>—が好き、—が苦手なことから思いつくままにどんどん書いていきます</p>  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p>友達と自分の「強み」見付け</p>  <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>あなたの「強み」は、 素晴らしい目標をもついるところ だと思います。 ()より</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>あなたの「強み」は、 子供を助けたために世界に行けること だと思います。 ()より</p> </div> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>活動③ 自分の「強み」だと思ふことを書きましよう。</p> <p>私の「強み」は 将来への大きな目標が明確なこと</p> </div>	<p>ふだん取り扱わない授業内容に対して、躊躇したり抵抗を示したりする生徒がいることが考えられます。</p> <p>→授業の導入で、生徒や学級の実態に応じた「強み」の話をするにより、活動への抵抗感を和らげ、学習内容に対する期待感を高めます。</p> <p>「強み」という言葉を難しく捉え過ぎてウェビングを自由に書くことができない生徒や、自分の「強み」を自分自身で表現することに躊躇したり自分には「強み」がないと考えたりする生徒がいることが考えられます。</p> <p>→まず、「強み」の定義を簡潔に説明します。次に、好きなものや苦手なことを示した「自分 Webbing」を参考に、書きやすいところから始めることにより、活動に取り組みやすくなります。そして、実際に生徒がウェビングを書いた後に、「強み」を理解するポイントを具体的に説明することにより、「強み」への理解を深めます。</p> <p>友達の「強み」は、自分の「強み」よりも見付けやすく書きやすいことが考えられます。</p> <p>→友達の「強み」を書くと同時に、友達からも「強み」を書いてもらうことにより、相互承認の中で安心して自分の「強み」を書くことができます。また、「強み」を書いてもらった直後の感想を伝え合うことにより、互いのよさに気付くことができます。</p>

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">② 自分や友達の「強み」を生かそう</p>	<p>主な活動（交流活動・・・）と授業スライド等</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">前時の振り返り</p> <p>① 自分や友達の「強み」を知ろう</p>  </div> <p>前時の振り返り</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center; background-color: yellow;">星☆いくつ</p> <p>友達と自分の「強み」見付け</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>活動①</th> <th>グループメンバー</th> <th>木下</th> <th>江頭</th> <th>原</th> <th>森永</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1 おもしろい</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2 元気がある・エネルギー</td><td></td><td>★</td><td></td><td>★</td><td></td></tr> <tr><td>3 正直・素直</td><td></td><td>★</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4 優しい・思いやりがある</td><td></td><td>★</td><td>★</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5 粘り強い・努力家</td><td></td><td></td><td>★</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>6 よく気がつく</td><td></td><td></td><td>★</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>7 想像力が豊か</td><td></td><td>★</td><td></td><td>★</td><td>★</td></tr> <tr><td>8 物事をよく考える</td><td></td><td></td><td></td><td>★</td><td>★</td></tr> <tr><td>9 好奇心旺盛</td><td></td><td>★</td><td></td><td>★</td><td></td></tr> <tr><td>10 類になる</td><td></td><td></td><td>★</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center; background-color: yellow;">Step Up Webbing ～解決への一歩～</p> <p>【アイデアを考える際のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆自分のやり方を紹介する ◆先生や先輩、家族に教えてもらったやり方を紹介する ◆今、思い出したものを書く ◆似ているものや関係のあるものはつなげる <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">Step Up Webbing 「強み」を生かして考えてみよう</p>  </div> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">自分の「強み」を生かす</p>  </div> <p>「Step Up Webbing」を見て、自分の「強み」を生かして、自分がやるべき内容を板書に書いたりイメージトレーニングしてやり直したりして考えてみる。</p> </div>	活動①	グループメンバー	木下	江頭	原	森永	1 おもしろい						2 元気がある・エネルギー		★		★		3 正直・素直		★				4 優しい・思いやりがある		★	★			5 粘り強い・努力家			★			6 よく気がつく			★			7 想像力が豊か		★		★	★	8 物事をよく考える				★	★	9 好奇心旺盛		★		★		10 類になる			★			<p>生徒の実態に即した活動のポイント</p> <p>ふだん行わないグループ活動に対して、躊躇したり不安を感じたりする生徒がいることが考えられます。</p> <p>→ 友達のファイルにも目を通す時間を設けることにより、新しいグループの親和性を高めます。</p> <p>自分から先に自分の「強み」を友達に意思表示することに躊躇したり抵抗を示したりする生徒がいることが考えられます。</p> <p>→ まず、友達に当てはまるものにシールを貼り、次に、友達から貼ってもらったシールを参考にして自分の「強み」について考えることにより、安心して活動に取り組むことができます。また、シールを貼ってもらった直後の感想を伝え合うことにより、互いのよさに気付くことができます。</p> <p>苦手なことや困っていることに対して、「強み」を生かして解決するという発想は浮かばなかったり、「強み」を生かしたアイデアを考えることは難しかったりすることが考えられます。</p> <p>→ 友達の苦手なことや困っていることを解決するために、まず、自分が知識や経験として知っているアイデアを書き、次に、友達の「強み」を生かしたアイデアを考えることにより、安心して活動に取り組むことができます。</p> <p>友達がアイデアを考えてくれたことへの感謝の気持ちや、友達にアイデアを提供できたことへの達成感を感じることが考えられます。</p> <p>→ 互いに友達に書いてもらったアイデアを参考にして、自分の「強み」を生かした解決方法を考えることにより、互いのよさに気付くとともに実践への意欲を高めます。</p>
活動①	グループメンバー	木下	江頭	原	森永																																																															
1 おもしろい																																																																				
2 元気がある・エネルギー		★		★																																																																
3 正直・素直		★																																																																		
4 優しい・思いやりがある		★	★																																																																	
5 粘り強い・努力家			★																																																																	
6 よく気がつく			★																																																																	
7 想像力が豊か		★		★	★																																																															
8 物事をよく考える				★	★																																																															
9 好奇心旺盛		★		★																																																																
10 類になる			★																																																																	

	<p>主な活動（交流活動・・・）と授業スライド等</p>	<p>生徒の実態に即した活動のポイント</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">③ 自分や友達の「強み」を生かしていく</p>	<p>前時の振り返り</p> <p>② 自分や友達の「強み」を生かそう</p> 	<p>ふだん行わないグループ活動に対して、躊躇したり不安を感じたりする生徒がいることが考えられます。</p> <p>→ 友達のファイルにも目を通す時間を設けることにより、新しいグループの親和性を高めます。</p>
	<p>Treasure Webbing ~「強み」の宝箱~</p> <p>活動① これまでの活動で見付けた自分の「強み」を書こう</p> <p>Treasure Webbing</p>  <p>「Treasure Webbing」の記入例（整理した自分の「強み」）</p>  <p>「Treasure Webbing」の記入例（友達が書き加えた「強み」）</p> 	<p>1、2時目で知った「強み」を関連付けたり、新たな「強み」に気付いたりするためには、視覚的な手立てが有効だと考えます。</p> <p>→ 1、2時目で知った自分の「強み」をウェブで視覚化・整理することにより、俯瞰的に自分の「強み」を再確認することができます。</p> <p>友達の「強み」を書き加えるときに自分の名前を書き添えることにより、友達を思いやる気持ちや活動への意欲が高まると考えます。</p> <p>→ 友達に「強み」のプレゼントを贈ることへの喜びや達成感を感じると同時に、友達から「強み」のプレゼントを受け取ることにより友達への感謝の気持ちを高めます。</p>
	<p>これがあれば大丈夫！</p> <p>「これがあれば大丈夫！」の記入例（生かしたい「強み」と選んだ理由）</p> 	<p>友達が「強み」を書き加えてくれたことへの感謝の気持ちと友達から承認を受けたことへの安心感から、自信をもって自分の「強み」を選んだり、選んだ理由を書いたりすることができると思います。</p> <p>→ 自分の「強み」を選んだ理由を考えさせることにより、具体的に「強み」を生かしていくイメージを持つことができ、今後、「強み」を生かしていくという実践への意欲を高めます。</p>

※ 3時間の学習で使用したワークシート等は、それぞれの授業後に目を通してファイル等にまとめ、「ストレングス・グッズ」として生徒に配付します。